

## 特別養護老人ホーム溪樹園 平穏な死を迎えるための指針

### 1. 理念

その方の歩まれてきた人生を尊重し、慣れ親しんだ思い出多き溪樹園で、苦痛なく、穏やかに、安心して過ごしていただけるよう、寄り添い、最期までお世話をさせていただきます。

最期の場所に溪樹園を選んでいただけたことに感謝します。

### 2. 介護の考え方

近い将来に死に至ることが予見される方に対し、その身体的・精神的苦痛、苦悩をできるだけ緩和し、死に至るまでの期間、その方なりに充実し、納得して生き抜くことができるように、日々の暮らしを営めることを目的として援助することであり、対象者の尊厳に十分配慮しながら終末期の介護について心を込めて行います。

### 3. 視点

終末期の過程においては、その死をどのように受け止めるかという個々の価値観が存在し、看取る立場にある家族の思いもそれぞれである。施設で看取るということは、長年過ごした場所で親しい人々に見守られ自然な死を迎えられるということであり、施設は利用者および家族に対し以下の確認を事前に行い理解を得る。

#### ①施設における医療体制

- ・施設には常勤医師の配置がないが、嘱託医師と連携し24時間の連絡体制を確保している。
- ・嘱託医師は必要に応じ健康上の管理に対応することとなっている。
- ・夜間は医療スタッフが不在であるが、緊急時の連絡により看護職員が駆けつけるオンコール体制となっている。

#### ②病状の変化に伴う緊急時の対応

- ・看護職員が嘱託医師と連絡を取り判断する。
- ・夜間においては夜間勤務職員が夜間緊急連絡体制に基づき、協力医療機関および看護職員と連絡を取って緊急対応を行う。

#### ③家族と24時間の連絡体制を確保する。

#### ④家族と介護計画書を取り交わす。

### 4. 具体的支援内容

具体的に支援できる内容を以下に記載するが、あくまでも例であり、家族の希望により臨機対応を行う。

#### ① 利用者に対する具体的支援

##### I. ボディケア

- ・バイタルサインの確認
- ・環境の整備を行う
- ・安穏、安楽への配慮

- ・清潔への配慮
- ・栄養と水分補給を適切に行う
- ・排泄ケアを適切に行う
- ・発熱、疼痛への配慮
- ・身体的苦痛の緩和

## II. メンタルケア

- ・コミュニケーションを重視する
- ・プライバシーへの配慮を行う
- ・全てを受容してニーズに沿う態度で接する

## III. 看護処置

- ・嘱託医師の指示に基づき必要な看護処置や受診の対応を看護職員によって行う

### ② 家族に対する支援

- ・話しやすい環境を作る
- ・家族関係への支援にも配慮する
- ・希望や心配事には真摯に対応する
- ・家族の身体的、精神的負担の軽減へ配慮する
- ・死後の援助を行う

## 5. 具体的方法

### ① 開始時期

開始時期については、嘱託医師により対象者の身体状況についての説明があり、尊厳のある、平穏な死を望まれた場合、施設にて平穏な死を迎えるための介護計画を作成し、終末期を施設で介護を受けて過ごすことに同意を得て実施となる。利用者および家族より事前に希望があった場合は、施設看護職員から嘱託医師へ連絡する。

また、心肺蘇生を希望されていないご利用者の心肺機能が微弱になっているところを発見した際は、ご家族の希望に従い、看取り介護を開始する。

### ② 施設にて平穏な死を迎えるための介護計画

介護支援専門員を中心に、看護職員、介護職員、管理栄養士、生活相談員等と協働して介護計画書を作成する。また、利用者の状態に変化があった場合や家族の心境に変化があった際には随時、利用者または家族への説明を行い、計画書に同意を得る。

### ③ 実施

可能な限り住み慣れた居室で生活していただくが、家族より個室を希望される場合や身体状況等により個室での対応が必要と考えられる場合は、個室を用意する。なお家族が泊まりを希望する場合は、これに対応する。

## 6. 夜間緊急時の連絡と対応について

当施設の夜間緊急時の連絡・対応マニュアル(別紙1参照)によって適切な連絡を行う。

## 7. 協力医療機関との連携体制

当施設は協力医療機関である滝上町国民健康保険病院との連携により、十分な連絡体制を確保して必要に応じ健康上の管理等に対応することができる体制をとっている。心肺蘇生を希望されない方が、心肺機能停止していることを確認した際は、すぐに主治医である嘱託医師に連絡をし、来園を依頼します。夜間・休日等で嘱託医師が不在の時は、出張医が来園して下さります。

## 8. 嘱託医師との連携

日	月	火	水	木	金	土
				嘱託医師 回診	嘱託医師 回診	

※回診は滝上町国民健康保険病院の急患の対応等によりできないこともあります

- ・看護職員による状態把握と嘱託医師への状況報告は欠かさない。
- ・急変時の対応について、事前打ち合わせを行う。

附 則

この指針は、平成24年 9月11日に策定し、同日から適用する

附 則

この指針は、一部を改正し、平成24年11月30日から適用する

附 則

この指針は、一部を改正し、平成27年4月1日から適用する

附 則

この指針は、一部を改正し、平成30年4月1日から適用する

## 緊急時対応・連絡マニュアル

### 様子がおかしい場合

血痰・吐血している場合は横向きにする。  
心臓マッサージ、人工呼吸などは行わない。  
自然に…苦しい思いをさせないように…。

・バイタルチェック

⇒ 看護職員より指示のあった数値の範囲を超えた場合や、血圧計でエラー表示が出るような場合は、待機の看護職員に連絡する。

・呼び掛けに反応しない

⇒ 待機の看護職員に連絡する。

・全身様子観察

⇒ チアノーゼ（唇や爪が青黒くなる）や手足が冷たいような状態を発見した際は、待機の看護職員に連絡する。

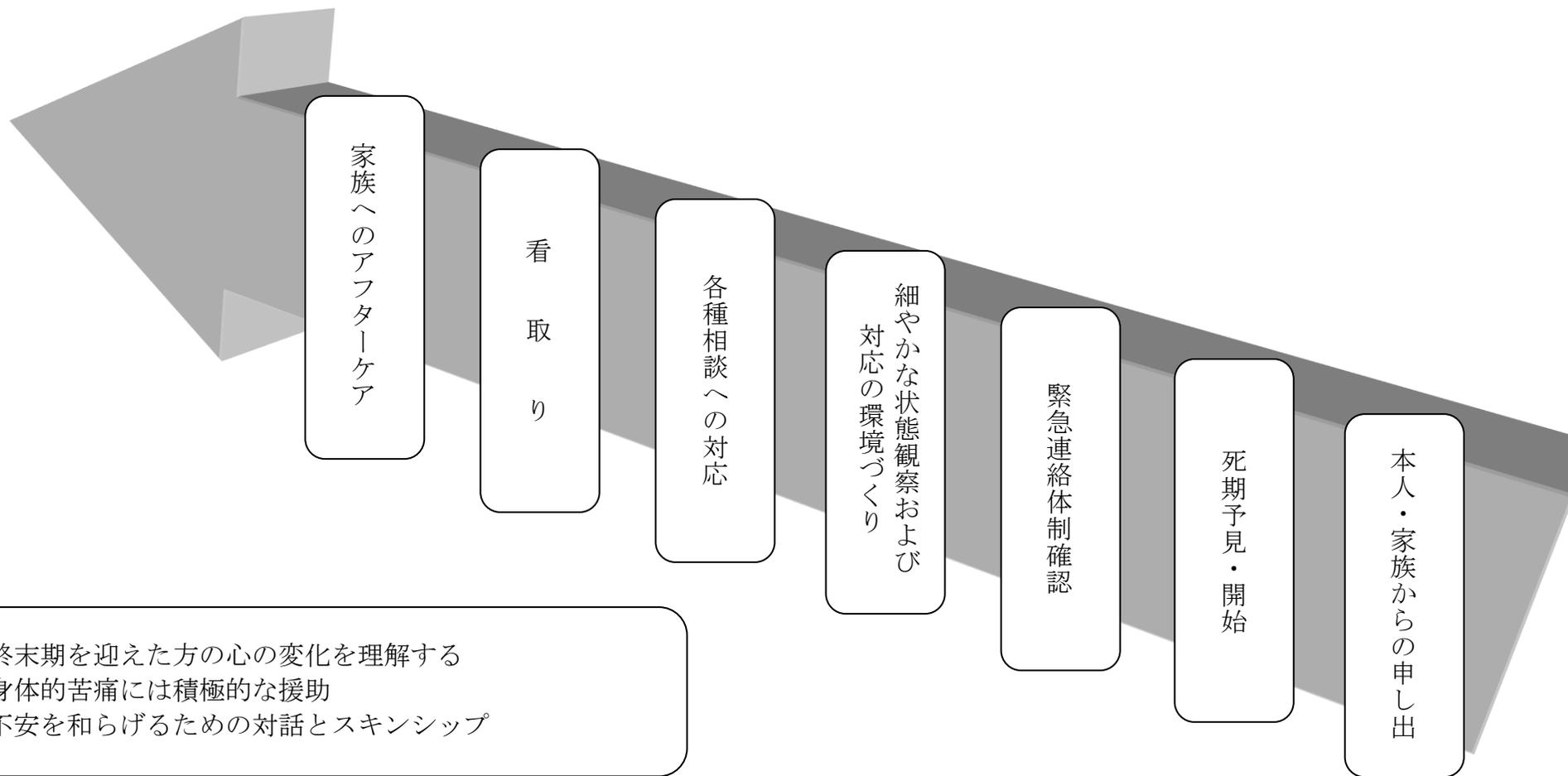
### 死が訪れた時の徴候

1. 呼吸が完全に停止している。
2. 心臓の動きが止まり、脈拍が触れなくなる。頸動脈の拍動も見えなくなる。
3. 揺り動かしても、大声で叫んでも全く反応がない。
4. 眼球は固定され動かない。まぶたは閉じていることも、開いていることもある。
5. 尿や便の失禁、嘔吐物がみられることがある。
6. 手足は、先のほうから徐々に暗紫色に変わっていく。

以上のような状態の際には、以下のように連絡をし、何もせず静かに医師が来園して下さるのを待っていて下さい

- ①ご家族へ連絡する。この時、「亡くなった」とは伝えず、状況をそのまま伝え、来園を依頼する。  
※ただし、この時、意向が変わり心肺蘇生を希望された場合は、ただちに救急車を要請し心肺蘇生を開始する。
- ②協力医療機関（町立病院詰所）に連絡する。この時、「亡くなった」とは伝えず、状況をそのまま伝え、医師の来園方法を確認する（夜間等で病院の運転手が不在の場合、タクシーが利用可能か園で車を用意するかを確認）。
- ③夜間、看護職員がいない場合は、待機の看護職員に連絡する。
- ④介護支援専門員に連絡する（順に連絡）。

# 特別養護老人ホーム 溪樹園 介護の流れ



### 体制の整備

- ・「平穏な死を迎えるための指針」を策定し、利用者またはご契約者等に対して説明を行う。
- ・看護職員は 24 時間のオンコール体制を確保し、介護職員は看護職員の不在時の対応を周知する等連絡体制を整備する。
- ・夜間や緊急時における医療機関との連絡体制の整備を行う。
- ・看取りに関する職員研修を行う。
- ・希望により個室を用意する。

Plan

### 看取り介護

- ・看取りに係る「介護計画書」を作成し、ご利用者またはご契約者等に対し説明を行う。
- ・多職種が連携し情報を共有するためご利用者の日々の変化を記録する。
- ・ご利用者に関する記録を活用しご家族に対し、情報提供を行う。
- ・看護職員は 24 時間のオンコール体制にする。
- ・看取られるご家族への心理的支援に配慮する。

Do

### 体制の改善

- ・「平穏な死を迎えるための指針」の見直しを行う。
- ・ご契約者等に対し、看取り介護に関する報告を行う。
- ・ご契約者に対し、実施した看取り介護についてアンケートを行い、今後の対応を検討する。
- ・ご利用者またはご契約者及び地域住民の方からの質疑・意見は常に受け、発信可能な情報は提供できる体制にし、興味のある方への啓発活動を実施する。

Action

### 振り返り

- ・各係において、実施した看取り介護を振り返り、職員一人一人の意見・感想を集約する。
- ・終末期ケア委員会にて、実施した看取り介護の検証を行う。
- ・終末期ケア委員会にて、職員の精神的負担の把握と支援について話し合う。

Check

## 介 護 計 画 書 [ 様 ]

計画日	平成 年 月 日 ( ) 記録者：
話し合い 参加者	ご家族氏名 様 介護支援専門員 看護職員 生活相談員
ご家族などの 連絡先	① 氏名： 続柄： 住所： TEL：
	② 氏名： 続柄： 住所： TEL：
	③ 氏名： 続柄： 住所： TEL：
医師の診断	担当医 _____
本人やご家族 などの希望	
計画内容	

特別養護老人ホーム溪樹園で平穏な死を迎えるため、上記介護計画に同意します。

平成 年 月 日

ご利用者氏名 \_\_\_\_\_ (署名代行： \_\_\_\_\_ 続柄： \_\_\_\_\_)

ご家族等氏名 \_\_\_\_\_ (続柄： \_\_\_\_\_)

ご家族等氏名 \_\_\_\_\_ (続柄： \_\_\_\_\_)